

滋賀水素拠点形成コンソーシアムに 米原市が参画



6月2日、市役所で、県内の水素エネルギー拠点形成に向けたコンソーシアム設立会合が行われました。今後、米原市も参画し、交通アクセスに優れた当市を水素供給拠点の候補地として、水素エネルギー活用社会の実現に向けて検討を進めていきます。

伊吹山植生復元に向けて ボランティアと土のうづくり



6月12日、伊吹山の斜面から流出した土砂を7-8合目に戻し、植生復元を図るための土のうづくりが行われました。この日は県内外からのボランティア20人が参加し、500個の土のうが作られました。土のうには、伊吹山に自生する植物の苗が埋められました。

第75回社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達式



7月1日、市役所で社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式が行われ、更生保護女性会の山本百合子会長から市長へ石破内閣総理大臣のメッセージが伝達されました。7月の当運動強調月間期間中は、全国各地で犯罪や非行のない明るい社会を目指すための啓発活動が行われます。

芸術展覧会表彰式を開催しました



6月7日、第20回芸術展覧会の表彰式が開催され、絵画や彫刻など4部門、全184作品の中から選ばれた受賞者に賞状や記念品が授与されました。



▲受賞作品など詳しくはこちら
(市公式ウェブサイト)

大阪・関西万博で伊吹山PRイベント



6月24・25日、大阪・関西万博会場内で、伊吹山の魅力や現状を知ってもらうイベントが開催され、会場には2日間でおおよそ1800人が訪れました。イベントではオリジナル漫画などを使って伊吹山の魅力や植生復元に向けた取り組みが紹介されたほか、伊吹山の麓でとれた薬草を使った入浴剤づくり体験も行われました。

国スポPRに向けて 米原駅東口の階段装飾寄贈



びわけんが隊長を務める滋賀のホッケー盛り上げ隊プロジェクトの一環として、プロジェクトを実施するベストアンサー(株)から米原駅東口の階段装飾を寄贈いただき、7月1日に贈呈式が行われました。同社の澤渡 健太郎代表は、「市を訪れた人をびわけんとお出迎えし、大会を盛り上げたい」と語りました。

■広報誌「まいばら」

発行部数▶13600部 単価▶1部あたり31円(1円未満切り捨て、職員の人件費は含まれていません) 次回発行日▶8月28日(木)
広報まいばら音声版▶申し込み、問い合わせは米原市社会福祉協議会(☎54-3100)へ

■市公式SNS

各SNSアカウントは二次元コードからご覧ください



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。